

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 新連載 美食文学道遣——福田育弘
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声



女性・女系天皇、改憲、靖国参拝……2人の考えはあまりに正反対だ。「お気持ち」の発表で対立は決定的となり、水面下では激しい攻防が続く。かくも天皇を軽視するのは、安倍の保守が「まかい物」だからだ。(110頁)

- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 美の艶話——齊藤貴子
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 誤審のスポーツ史——中村計
- 114 マスコミ業界ばなし
- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 虚飾まみれの聖路加国際病院
- 104 中国が先端医療研究のメッカに——緩い規制と危ない人体実験で躍進
- 106 村上春樹は「翻訳モノ」マッソ面白い
- 108 投機としてのワインの魅力——株式や金より上をいく「液体資産」
- 110 天皇と安倍の「確執」——「史上最悪」対立続く二人の関係

● 写真提供／時事通信フォト 共同通信イメージズ 毎日新聞社など

● 特別レポート
6 **トランプ「乱気流」の一年**
——米国こそ国際秩序「最大の不安要因」

- 3 連載(巻頭インタビュー)ポール・ケネディ——「米政権交代」日本は泰然としておれ
- 6 中東を「山分け」する米国とロシア
- 12 米メディア界を乗っ取る「新右翼」——トランプ時代の空恐ろしい「報道事情」
- 16 WORLD ● 情報カプセル
- 22 ドイツで出始めた独自「核武装論」
- 24 インド—T人材「争奪戦」の壮絶
- 28 「ドストエフスキー」で読み解くプーチン——日露会談「安倍完敗」に終わった理由
- 30 中東は「独裁強権」回帰で安定する——「脱オバマ」トランプ路線に期待
- 32 米欧に広がる「素人単独テロ」の恐怖——ドイツ事件で見た「T.S」の新方針
- 34 韓国次期大統領選も醜い「泥仕合」に——最有力・潘基文を待つ「難関」
- 36 トランプは台湾を「裏切る」
- 38 中国で始まる「民主派」大弾圧——習近平強権にトランプは「我関せず」
- 42 連載(土着権力の研究)青森県角弘——地元財界「重鎮企業」に兆す陰り
- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 公明党「カジノ」法容認の逆罪
- 48 自民が目論む連立与党「再構築」
- 52 連載(政界スキヤン)菅と「階」が手を結ぶ「ポスト安倍」政局
- 54 君側の奸「今井尚哉」の狼藉
- 56 農協改革なる「茶番劇」は続く——宰相候補「進次郎」に増す不安
- 58 連載(罪深きは)この官僚「武田博史」(防衛省報道官)——「お飾り大臣」の無能を世に晒す



トランプ・プーチンの接近が現実となれば、米国の戦後外交政策は根本から覆る。米国が「世界の警察官はやらない」なら、中ロ両大国が対外冒険主義を強めるのは必定。欧州とアジアは容易に発火する状況になる。(6頁)

60 暴走するトヨタ「プリウス」

- 62 サムスン財閥「空中分解」の憂き目——李ファミリー支配に近づく「終幕」
- 64 孫正義「世界政商」の化けの皮
- 67 連載(クロスアップ)南場智子(DENA取締役会長)——「モラル崩壊」放置した創業者
- 68 連載(企業研究)三井住友銀行——危険な体質
- 72 三菱UFJが投資信託で「詐欺商法」
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載(経営者東京裁判)出光昭介(出光興産名誉会長)——晩節汚した「創業家の乱」
- 80 武田薬品に迫りくる「落日」——新薬も人材もない「シリバ」状態に
- 82 中国不動産バブル「最大の破裂」間近——いつか日本がたどった道へ
- 84 もはや不要の「証券アナリスト」——ルール厳格化とA上の登場で
- 86 「人民元」の破滅で何が起きるか——中国関連の投資に鳴り響く「警報」

役員ポストは6割を独占。2トップ共に旧住友がせしめたことで、三井排除は一気に進む。バブル期の「黒い遺産」は何とか封じ込めたが、新たな不良債権が生まれる予兆も。懲りない体質で暗黒の歴史は繰り返す。(68頁)

